髙島屋玉川店で開催しま 産品試験販売」を東京・

生産者が自ら出店し、 実施店担当者からのアドバイス 消費者の生の

消費者の嗜好と購買動機が掴めた」、 路に関するヒントを得られる産品試験 12市町12事業者が参加し、「東京の の7日間開催しました。 平成23年10月12日 特産品の開発・改良および販 水 18

わり、購入される方が多くなった」な あり実践したところ、お客様の顔が変 った」、「゛お客様に朝食のシーンを思 説明すると購買につながる確率が上が 大好評でした。次回は平成24年2月1 てみては、 い浮かべていただくようなPRに変え お客様が試食する時、 新たな発見や気づきを得られたと と百貨店からアドバイスが 味と使い方を



商品開発や販路に関するヒントをつかむ

財電源地域振興センター

います。 多くの皆様からのお申込をお待ちして 催します。その後も、 日 き次第、市町村を通じて募集します。 (水)より福岡 大丸 会場と調整がつ 福岡天神店で開

【お問い合わせ先】

財電源地域振興センター

電話:03-6372-7310 振興支援部 販売支援課

eメール:msp@dengen.or.jp



を開催しました 「第3回産品相談・商談会」

開催しました。 おいて「第3回産品相談・商談会」を 平成23年11月17日 (木)、 福岡市に

面談を行いました。 心とした百貨店等のバイヤーと個別に 各地からの参加者は、 「催事出店を検討する」という結果が 九州地域を中

約半数にのぼり、その他にも「ギフト

るか等のアドバイスを、サンプル画像 ズ」をいかにパッケージに反映させ デザイン相談では、「消費者側のニ 分かり易

実した内容となりました。

今後につながるきっかけが生まれ、 商品化検討」「常設品として検討」など

充

等を提示しながら行うなど、 い説明が好評でした。

【お問い合わせ先】

販売支援課

電話:03-6372-7310 メール:msp@dengen.or.jp



催しました を青森県おいらせ町で開 .現地産品相談·商談会_

ます。 域の声を集め、 参加したくても参加できないという地 開催型には場所や日程の都合が合わず、 催型「産品相談・商談会」は、東京や 地元の事業者と面談を実施する現地開 中から希望されるバイヤーを派遣し、 大阪等の大都市圏で開催してきた定期 青森県おいらせ町において、 平成23年10月24日(月)~25日(火)、 依頼を受けた地域へ大手百貨店等の 「産品相談・商談会」を開催しました。 昨年度から実施してい 現地開催

り、当センターとしても今後、 自治体から問い合わせをいただいてお れていくべき事業の一つと考えており 始めて間もない事業ですが、 力を入 多くの



バイヤーとの面談



・販売事業者と、自治体職員 地域住民が加わった講演会

施しました。 との面談やバイヤーによる講演会を実 今回の相談・商談会では、 バイヤ

や地域住民など、 図ることで、 拡大に向けて、 いての話を聞き、 りました。また、 体的に前向きな話ができた事業者も 相談ができたことや商談についても 面談では、 市場の動向や消費者ニーズ等につ 販売事業者に加え、 地域としての 商品開発、 知識や問題点の共有を 講演会では、 多くの方々が参加さ 地域の特産品の販路 改良に向け 自治体職 一体感を醸

様のご参 まち 募集しております ĺ な 現 ñ 在 る 左記 ッ 産

【お申込および 電源地域振 お問 (1

(財)

لا ا ģ

ル

: jinzai@dengen.or.jp

/html/works/kensyu/index.html

I 話

ム

ジ

http://www2.dengen.

合わ

づくりと

を

0 6 興 372-73 セ 興支援部 ンタ せ先 人材育成課

少子高齢時代の 現在募集中の研 づくりに是非ご活用くださ 加を 詳細 をご確認くださ お待ちし または当セン につきまし 品 修デ まちづくり Ó で してお Ì 皆様 V ては各研 販 ります タ 売促 多く 1 0) 1 地 0) 進 0) ホ 修 域

formation 募集していま

のテー

マ

0

研

修

参

加

者を

0

|財電源地域振興センタ | 【お問い合わせ先】 X 話 Ī 03 ル msp@dengen.or.jp 6372-73 興支援 Ò 流支援 課

е

★★★賞および商品★★★

なった」

などの意見が

Ŀ

が

Ď,

現

地

催のメリ

ットを感じていただけ

充実

た内容となりまし

全体

蕳 み

題としてもっと多く た話が聞けて良

 \dot{O}

関

係者

点から

ア

ケー

1

結果にお

V

ても

違

か

っ

た

町

に聞

いてもらいたい」、

「今後

0) 参考に 成し

ま

た

景優秀賞 旅行券3万円分

旅行券1万5千円分 2点

入選された作品は当センターのホームページ、「電気のふ るさと〜電源地域ニュース〜」その他で紹介する予定です

司(ひ)水かる

■募集内容

テーマ: 「電気のふるさと」

- 皆様の暮らしを支える大切な電気。その電気のふるさとを訪れて、四季折々 の自然風景、人々の生活や祭事、その地域を象徴する風物など、電気のふ るさとの魅力が表現された作品を募集します。
- 「電気のふるさと」とは、建設準備中・工事中・運転中の発電所等が所在す る市町村とその周辺の市町村のことです。
- ※電源市町村は当センターのホームページ(http://www2.dengen.or.jp)を ご確認ください。

■審査委員長

森村 進氏

(日本写真家協会会員。各地の写真愛好家の指導に当たるいっぽう、 風景写真をテーマにした撮影を積極的に行っており、著書多数)

■応募方法

- カラーまたは白黒プリント、A4サイズとします。
- 必ず規定の応募用紙(裏面)に必要事項を記載の上ご応募ください。
- 写真プリントは、応募用紙と必ずセットで送ってください。
- 応募用紙は当センターのホームページよりダウンロードできます。
- お一人様3点までの応募とします。なお、1枚の応募用紙で応募できる写真 は1枚です。

■応募資格

日本国内に在住の方に限らせていただきます。

平成24年3月31日(当日消印有効)

必ず郵送で応募してください(メール便可)。郵送以外では受け付けません。

■送付先

東京都中央区日本橋堀留町二丁目3番3号(堀留中央ビル7階) (財)電源地域振興センター 電気のふるさと編集室

■入選発表

電気のふるさと編集室にて森村進審査委員長のもと、厳正なる審査の上、 最優秀賞および優秀賞を決定します。審査結果は、平成24年6月、当センタ -のホームページおよび「電気のふるさと ~電源地域ニュース~」平成24 年6月発行号にて発表します。

Denki-no-Furusato Photo Contest 2011

優秀賞

【注意事項】

- ★応募者本人のオリジナルで未発表作品に限ります。
- ★他のコンテスト等への二重投稿や、既に発表されている作品などに著しく類似 したものは審査対象外となります。
- ★電源地域市町村以外の場所を対象とした写真は審査対象外とします。 ※必ず撮影市町村を確認のうえ応募して下さい。
- ★応募に必要な項目に不備がある場合、記入内容が事実に反していた場合も審 査対象外となります
- ★入選作品がデータの場合は、CD-Rを提出していただきます。
- ★応募作品の返却はいたしません。
- ★応募作品の著作権は(財)電源地域振興センターに帰属します。入選作品(最 優秀賞および優秀賞)および最終選考に残った作品についてはホームページ 等掲載にあたり、一部内容を編集させていただく場合がありますので、予めご了 承ください。
- ★応募後、連絡先が変更となった場合は、電気のふるさと編集室まで電子メール (アドレス:furusato@dengen.or.jp)にてお知らせください。
- ★入選作品の広報については、入選者の氏名および居住する都道府県市区町 村名を公表いたします。
- ★ご提供いただいた個人情報は、①応募作品の管理、②入選者に対する連絡や 賞品の発送、③入選作品の発表および使用する際の作品紹介にのみ使用 し、その他の目的には使用しません。
- ★応募にかかる費用は一切を応募者負担といたします。
- ★応募いただいた写真は、被写体(写真に写っている第三者)から許諾を得てい るものとし、(財)電源地域振興センターはその責任を負いません。万が一、応募 者と第三者との間に紛争等が生じた場合、応募者の責任においてそれを解決 するものとします。
- ★この募集要項で示す事項のすべてについて、同意された上でご応募ください。 作品をご応募いただいた場合、その応募者及び被写体がこの募集要項に定め る事項のすべてを承諾したものとみなします。

お問い合わせ先

(財)電源地域振興センター 電気のふるさと編集室

TEL:03-6372-7312(平日10~17時)

FAX:03-6372-7301

E-mail:furusato@dengen.or.jp

詳細はフォトコンテストの ホームページをご覧ください 電気のふるさとフォトコン 検索

www2.dengen.or.jp/html/works/photocon/index.html